

こんにちは。

今日は3回目ですね。

第3回

貸した相手に逆切れされたら？

貸した相手に逆切れされない交渉術

行きますね。

債権回収の交渉術っていうのは、
別名があるんです。

何だと思いませんか？

簡単なんです。

これです。

あげ足取り

これだけなんです。

返さない相手が悪いわけですから、
そのあげ足を取ってやって、
有利な状況に持っていくんです。

逆に言うと、
絶対に言いくるめられてはいけませんよ。

相手に言いくるめられると、
相手が主導権を握ってしまいます。

ですので、
言いくるめられそうになったら、
あげ足を取るよう意識してください。

それでは、少し実例を挙げますね。

実例1

「そんなに信用ないなら返さない」

みたいなことを債務者に言われたとき。

すかさず、言ってください。

「なるほど、最初から返す気がなかったんですね。」

それじゃあ、詐欺ですよ。

詐欺なら警察に行きますよ。」

みたいに。

そもそも債務者がなめているので、
逆切れするわけですので、
ビシッと言い返してください。

債務者がひるむと、

「そういうわけではない。

ちゃんと返すつもりだ。」

みたいに。

ここに辿り着いたら、流れは一緒です。

いつ返済するのか？

根拠は？

入金日は？

など、矢継ぎ早に追い込んでいきます。

とにかく、あげ足を取ってくださいね。

それでは、実例2です。

実例2

「少しぐらい待っていてもいいだろ。」

こんなことを言われても、ひるんでは駄目ですよ。

言ってやってください。

「借りるときは、誠実な振りをして、

返すときになればその態度ですか？」

みたいなことを言ってやってください。

プライドを傷つけてやってください。

ただ、やりすぎは駄目ですよ。

やりすぎると開き直る場合がありますから。

ムチとアメをバランスよくです。

次、行きますね。

实例3

「お金が無いんだからしょうがないだろ。」

半分開き直っていますね。

ただ、ここで相手に言いくるめられてはいけません。

確かにお金がなければ、回収は難しいんです。

でも、ここで認めてしまえば、
二度と返済をしなくなりますよ。

ですので、ここは教育のためにも
ガツンと言いましょう。

行きますよ。

「お金が無いなら無いで、誠意はないんですか？」

あれだけちゃんと返すって言うていたんですよ。

しかもなんですか、その言い方は？」

みたいな感じですよ。

相手の心理を利用するわけです。

債務者って言うのは、
詐欺師ではありませんから、
返せないことに「悪い」という感情はあるんです。

開き直っていても
少しでも「悪い」という感情はあるんです。

そこをついてやるんです。

それでは、次行きますね。

実例 4

「毎月 1000 円しか払えないよ」

絶対に認めてはいけませんよ。

主導権は、ご自身ですからね。

行きますよ。

「誰が勝手に返済額を決めているんですか？

1000円しか支払えないなら、その根拠を言ってくださいよ。」

みたいな感じですよ。

根拠も無いのに認めてはいけませんよ。

毎月1000円の返済額で認めたら、
ご自身が苦しむだけですよ。

自分を苦しめるために
生きているわけではありませんから。

必ず、全額返済が見えるところで交渉してください。

それでは次に行きますね。

実例5

「返すって言ってんだから待ってろよ。」

なめられたモンですね。

こんな相手には、少し声を荒げてもいいです。

ただ、この実例の相手は普通の人の設定ですからね。

暴力のプロとかではないですからね。

暴力のプロにお金を貸したなら、
それはあきらめてください。

それは貸したご自身が、
絶対的に間違っていたわけです。

それはあきらめるしかありません。

さておき・・・

続きを行きますね。

「待ってろ」みたいな言葉遣いをされた場合。

「待ってろ」って誰に言ってるんですか？

借りるときはあんなに頼んでおいて、返すときは「待ってろ」ですか？

頼まれて、良心でお金を貸した相手に「待ってろ」ですか？」

債務者は、
つい感情的になって、
「待ってろ」みたいな言葉遣いになった可能性があります。

ですので、
会話の端々に「待ってろ」を入れてください。

すると、言ったことを後悔しますから。

そしてそこを責めて行くわけです。

例えばですね・・・

「お前」みたいなことを言われたときも同じです。

上の例にお前を入れるだけです。

入れてみますね。

「お前」って誰に言ってるんですか？

借りるときはあんなに頼んでおいて、返すときは「お前」ですか？

頼まれて、良心でお金を貸した相手に「お前」ですか？」

こんな感じです。

「お前」って言ったことを連呼してください。

何となくでも感じは掴めたでしょうか？

ご自身が優しい人なのはわかっています。

そして、こんなあげ足を取ることが嫌いなのはわかっています。

しかしですね・・・

心を鬼にしてください。

出来るところまではやって行きましょう。

泣き寝入りは後で後悔しますから。

では、今日はここまでです。

健闘をお祈りいたします。